

発行:(有)住吉タイヤ工業所 半田市住吉町 3-133-4 営業時間 9:30~18:30 (日・祝日 9:30~18:00)

夫婦で理想のパン作り パン・ド・ミさん



竹内宏樹

奥さんの金子昌代さんと旦那さんの政司さんお二人が力を合わせて、営んでいるパン・ド・ミさんは、住吉タイヤの左向いにあります。2011年からパン屋を始めて、2013年に住吉町に移転してきました。11年前、私達の結婚式の時に父がパン・ド・ミさんのパンを参列者に配ってくれました。そんな思い出もあります。10年以上パン・ド・ミさんに通う中で、毎回買うパンがあります。それは季節のデニッシュです。まずベースのデニッシュ生地がサクサク、そして知多の上質な卵を使ったカスタードクリームと、厳選された生クリームを合わせ、中にたっぷり入っています。上には昌代さんがほれ込んだフルーツが中心に乗っています。8月はマンゴー、9月は栗、10月はりんごになります。月によって変わる、最高に美味しい季節のデニッシュは、私の日常の楽しみです。

※作る時期は変動しますので詳細はInstagramをご確認下さい。



くり9月頃



りんご10月頃



みかん12月頃



マンゴー8月頃



ショコラ冬頃



いちご春頃



ブルーベリー5月~7月頃

美味しいパンは環境作りから

昌代さんが生地を作り、焼くのは政司さんの仕事、パンは、ミキシング(こねる工程)と発酵状態が大切とおっしゃっていましたが、もう一つ大切な事があります。それは、パンを作る建物です。同じ人が作ってもどこで作るかで味は全く変わるそう。それはその建物にいる、パンにとって大切な酵母菌などがパンの味にかなりの影響を与えるからだそうです。例えばパン工房の中で納豆を食べてしまうと、納豆菌が工房に住む大切なパンを発酵させる菌を食べてしまって、パンの味が変わってしまうとのこと。お二人の話を聞くと、不思議な感覚になりました。まるでそこに大切な仲間がいるようで、パン工房や、見えない酵母菌に大きな愛情を感じました。



理想の美味しいパンが食べたかった

パン工房を始めたきっかけは、昌代さんの幼い時からの「もっと美味しいパンを食べたい」という想いから。パンの専門学校へ行き、その後は自宅で焼いて研究し、2011年からは、東浦で2年販売していました。その前は、看板屋をやったり、美容師の免許を持っていたり、政司さんは気象予報士の免許を持っていたりと、お二人ともすごい経験をされています。パン作りに美的感覚と、気候もかなり影響するので、それがおいに活かされているのだな~と感じました。



サンドイッチも大好物



パン・ド・ミさんのパンは何か他と違うとずっと感じていた

パン・ド・ミさんのパンを初めて頂いてから10数年になりますが、お二人の作り上げるパンと、たまに食べる量産されるパンはなぜこんなにも違うのだろうといつも思っていました。それは、お二人の優しさやパンに対する愛情が全く違う事、研究工夫改善を常にしている事、さらに育ててきたパン工房の環境が合わさって最高のパンを私達が頂けるのだなと思いました。パン作りは、朝3時30分から始め店に並び出すのが、11時30分。本当に手間をかけて作ったお二人の大切なパンです。作業から販売まで夫婦で全てを行います。私達が大好きなパン・ド・ミさんのパンを是非、みなさんも食べてみてください。

【竹内宏樹】



パン・ド・ミさん

半田市住吉町3-135-1
電話: 0569-77-0808
営業時間
木・金 11:30~17:00
土 11:30~16:00

ご予約・当日のお取り置き
承っております。
定休日でもお電話OK

LINE
友だち登録してね!



Instagram
フォローしてね!



(有)住吉タイヤ工業所

半田市住吉町 3-133-4

営業時間
9:30~18:30
日・祝日 9:30~18:00



ホームページも
見てね!

TEL 0569-21-0793

自動車整備認証工場

ゴムの話

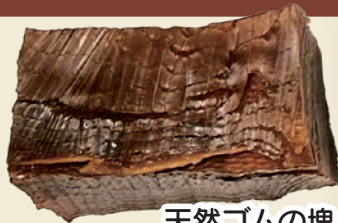
住吉タイヤには、ゴムの原料になる木の仲間(フィカス属)を数種類育てています。どれも私が6年以上前から、育成しています。南国の植物が好きという事と、タイヤはゴムの木の樹液から出来ていて、タイヤ屋として興味がありました。ゴムの木が無ければ自動車の発展は無かったと言っても過言ではありません。少しゴムの事について語らせてもらいます。



数年間育てたゴムの木

1493年コロンブスがハイチ島でゴムを発見

古来、メキシコ地方にはゴムの木が生息しており、コロンブスが2回目の新大陸の航海の際に、キューバの近くハイチ島で、原住民の子供がゴムの樹液で作った黒いボールで遊んでいるのを発見しました。その後、上のような塊をヨーロッパへ持ち帰り、人々に知られるようになりました。まだこの時は、ボールや、水筒などの利用方法しかなかったようです。



天然ゴムの塊

アパレルブランド、マッキントッシュによるゴムの活用

時代は流れ、1823年にイギリスでマッキントッシュがゴムを使い世界初の防水服を発明しました。これが馬車の運転に大活躍しました。しかし、この頃のゴムは、夏は暑さでベトベトで、冬は寒さでカチカチといった具合で、温度の影響を受けやすいという問題がありました。これを改善するために人々はさらに研究を重ねました。

防水服



アメリカ人のグッドイヤーによる偶然の発見

ゴムの発展は偶然から生まれました。1839年アメリカ人のチャールズ・グッドイヤーが研究中に居眠りをしてしまい、彼のゴム靴に実験中の薬品がこぼれ、ストーブで加熱されてしまうという事が起きました。翌日、目を覚ましたグッドイヤーは、ゴム靴の弾性が増大している事に気が付き、偶然にも硫黄によってゴムが硬くなり、弾性を持っている加硫ゴムを発見したのです。現代のタイヤに通ずる加硫ゴムの誕生です。しかしグッドイヤーは大発明したにも関わらず、イギリスのハンコックに特許を横取りされ、自身は貧乏のまま亡くなってしまったようです。その後、別の特許で収入が増え、子供達は潤いました。グッドイヤーの発明は、現代のタイヤ産業は勿論、ゴム産業の発展に貢献しました。(※この話は、諸説があります。)ちなみに、タイヤのグッドイヤーはここから名前をもらっています。



CHARLES GOODYEAR
"Safety" Process
WHO RECOVERED THE LOST RUBBER HOPE FOR THE WORLD
1839 - 1939

世界を変えたチャールズ・グッドイヤーの情熱

ゴムの木から出る白い樹液から世界を変える事になった最強の素材「加硫ゴム」を発明し、自動車業界がタイヤの発展によって、走行性能、耐久性能が上がり発展を遂げてきました。すべてはチャールズ・グッドイヤーの偶然の発明の恩恵です。私達が販売するタイヤも元をたどれば、右の木の樹液から出来ています。本当に不思議ですね。チャールズ・グッドイヤーは失敗を何度も何度も繰り返し、情熱を持って目標に向かって多くの時間をかけました。成功や発展は多くの時間の投入から始まります。これは時代を超えて全ての物事の不変の原則なのかもしれません。

【竹内宏樹】



白い粘着性のある樹液が出る

タイヤのゴムの木



あ〜んなことや
こんなこと...

会長のひとりごと
Masamichi's voice



西川流ひな桜会ゆかた会

皆さんこんにちは!この夏は昨年に続き猛暑が続き大変ですが元気にしていますか、私は夏バテ気味ですが何とか元気です(笑)その中7月27日に私の孫がお世話になっています西川流ひな桜会ゆかた会に行ってきました。昨秋から孫が日本舞踊西川流西川嘉桜先生の自宅にて日本舞踊の教を毎週受けています。日本の伝統文化である日本舞踊に礼儀作法から日本の美しい作法を学んでいます。その稽古の成果の発表を年2回1月「踊り初め会」と7月に「ゆかた会」が開催されます。保育園児から小学生に大学生幅広い年齢の生徒さん最高年齢はなんと89歳の方まで29人のお弟子さんが宮池会館の舞台にて各自それぞれの演目にて一人5分程大勢のお客様の前で日頃の稽古の成果を披露します。最初は師匠の西川嘉桜先生の「松の緑」の演目からスタート、さすがの美しい舞いに皆が息を飲み引き込まれました。それから順番にお弟子さんが演目を披露し私の孫は5番目に「藤の花」の演目です。日頃の孫の振舞とは違いお淑やかな手の動き、視線に体の動きなど別人に感じるほどで孫ですからより良く見えてしまうのかも知れませんが素晴らしく感動しました。携帯に録画して帰宅してから何度も見入っています。よく短期間でここまでご指導頂いたものと先生に本当に感謝です。次々とお弟子さんが日頃の稽古の成果を披露してくれました。最後「トリ」は孫が直接教えて頂いている西川嘉桜先生です、嘉桜先生は10月11日・12日に名古屋公会堂大ホールにて行われる「名古屋をどり」に出演される西川流の最高峰に立つそれは凄い方です。皆が最後まで席を立たず待っていました感が伝わってきました。演目が始まり素人の私でも洗練された静と動の調和された

動きに豊かな表現力が分かるほど美しいと感じました。その魅力はまさに日本人の心を惹きつける伝統文化と感じました。10月の名古屋をどりをぜひ機会があれば見に行くと日本の素晴らしい伝統文化の魅力に惹きこまれると思います。孫が直接嘉桜先生から教えて頂いている事は私としては本当にありがたく感謝です、私も住吉のお祭りや子供三番叟など地域の伝統文化に多少携わらせて頂いていますが微力ですがこれからもその魅力を何らかの形で伝えていきたいと思っています。【竹内政道】



私のデリカのバッテリーが
上がってしまいました。



夏目紋子

気付いたら4年以上経っていたデリカのバッテリーが、突然何の予兆もなく上がってしまいました。ブースターケーブルを持っていて、知識もあったので始動出来て、ギリギリ出勤時には間に合いましたが、暑い日だったのでものすごく大変でした。出勤前に汗だらだらで、大切なメイクも崩れてしまいました。3・4年経ったバッテリーは絶対変えないといけないいな、と身をもって体験した1日でした。バッテリー上がりってやっぱり焦りますね。暑さで消耗しているバッテリーですが、

皆さんもバッテリー上がりには気を付けて下さいね。私が無料でしっかりとチェックします。【夏目紋子】



住吉タイヤ
愛車の無料点検

あなたの愛車をいつでも無料で点検します!! お気軽に問い合わせ下さい。



電話予約 0569-21-0793